

No.	募集テーマ	募集部署
1	VR技術を活用したトレインシミュレーターの製作 弊社で製作済みのトレインシミュレーターについて、現在はモニター画面と簡易ハンドルで運転体験が実施できる仕様になっているが、より没入感を得られるような仕様とし、まるで本当に運転しているかのような体験を提供したい。	計画管理部 需要創出担当
2	お子様向け体験・教育コンテンツ 現在、鉄道乗車ポイント（京王トレインポイント）の交換先として、京王線沿線のお子様向けに、体験コンテンツを提供している。鉄道コンテンツはもちろんのこと、それ以外でも様々なジャンルの体験コンテンツを提供したい。	計画管理部 需要創出担当
3	定性情報を定量化する仕組みの導入 駅掛員の「接客態度」や乗務員の「運転技術（電車の乗り心地）」など、現状客観的に定量分析が困難で、効果測定が明確にできない業務について、定量的に評価できる仕組みを導入したい。	鉄道営業部 管理担当

【テーマ1】VR技術を活用したトレインシミュレーターの製作

概要	弊社で製作済みのトレインシミュレーターについて、現在はモニター画面と簡易ハンドルで運転体験が実施できる仕様になっているが、より 没入感 を得られるような仕様とし、 <u>まるで本当に運転しているかのような</u> 体験を提供したい。
背景	現行のシミュレーターがかなりコンパクトになっており、持ち運びが安易であるが、モニターがないと体験できない状況であるため、 <u>VRグラスのように画面も持ち運び可能な状態</u> にしたい。
目的	新しい技術を活用して没入感・臨場感を出し、高付加価値の体験コンテンツとしたい。
ポイント	<ul style="list-style-type: none">・VRグラスがコンパクトであること（もしくはコンパクトなものを開発予定）・既存のシミュレーターと連携可能であること・出来るだけ安価であること（競合比較の明示・補助金活用も可）・VRグラスにこだわらず、上記背景・目的が達成できる提案であること
今後の方向性	導入後は、鉄道乗車ポイントの体験コンテンツとして活用することや、企業向けへの販売なども視野に入れ、マネタイズを図りたい。
備考	現行プログラムはDelphi（プログラム言語）をベースにしており、ノッチ位置による車両の加減速に勾配、車両重量などの要素を加味して、動画再生速度を変化させ、加減速可変コントロールを行っている。上下左右に頭を動かすことで視点移動ができることを満たせば、出力方式については自由とする。

【テーマ2】お子様向け体験・教育コンテンツ

概要	現在、 鉄道乗車ポイント（京王トレインポイント） の交換先として、京王線沿線のお子様向けに、体験・教育コンテンツを提供している。 鉄道コンテンツはもちろんのこと、それ以外でも 様々なジャンルの体験・教育コンテンツを提供したい。
目的	鉄道コンテンツ以外 の高付加価値の体験・教育コンテンツの提供
課題	自社内製では、将来的に企画内容の枯渇や人工手配など、継続性に課題が発生する可能性があるため、企画・運営を任せられるパートナーを探したい。
ポイント	<ul style="list-style-type: none">・企画、運営までの一連の流れが任せられる（実施場所は応相談）・お子様向け（小学生）の体験・教育コンテンツを持っていること
今後の方向性	鉄道乗車ポイントの交換先として実績があがれば、事業共創など幅広い視点で今後の連携可能性を検討したい。
備考	京王トレインポイント専用サイト： https://www.keio.co.jp/keiotrainpoint/ 過去リリース： https://www.keio.co.jp/news/update/news_release/news_release2023/nr20240321_keiotrainpoint.pdf

【テーマ3】 定性情報を定量化する仕組みの導入

概要	駅掛員の「接客態度」や乗務員の「運転技術（電車の乗り心地）」など、現状客観的に定量分析が困難で、効果測定が明確にできない業務について、 <u>定量的に評価できる仕組みを導入したい</u>
背景	約1,500人の現業職場を管理する上で、最低限の接客態度や運転技術の基準を設けるだけでなく、指導の統一や納得感のある評価も実現したい
目的	接客態度：笑顔度や声のトーンを計測する、身だしなみを写真で取って点数化するなど 運転技術： <u>乗務員のモチベーションアップへ繋げる</u> など
ポイント	画像認識、顔認証、AI技術などを活用し、定量化する技術に長けた企業を想定
今後の方向性	同業他社への横展開など販路拡大の支援
備考	